

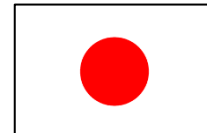


ASEANの最新情勢と 日本の戦略

ASEAN会講演会

2025年7月4日

ASEAN日本政府代表部大使 紀谷 昌彦



ASEANの最新情勢

2025年ASEAN議長国

議長国：マレーシア

テーマ：包摂性と持続可能性

(Inclusivity and Sustainability)

優先分野：

- 1 ASEAN中心性の強化
- 2 域内貿易・投資と科学技術イノベーション
- 3 包摂性と持続可能性（格差縮小、生活水準向上、気候変動の影響緩和）

+ **AESAN共同体ビジョン2045**と4つの戦略計画（政治安全保障・経済・社会文化・連結性）の採択



マレーシア議長国
ロゴ

ASEAN首脳会議・関連会議

ASEAN首脳会議（5月26日）

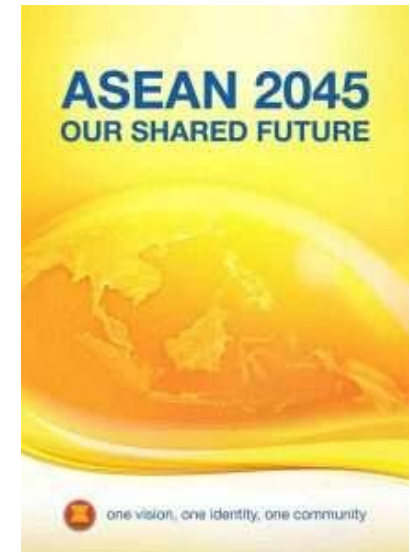
- ◆ **ASEAN共同体ビジョン2045**：4つの戦略計画（政治安全保障・経済・社会文化・連結性）とともに採択
- ◆ **東ティモール**：10月のASEAN首脳会議での**正式加盟を決定**
- ◆ **ミャンマー問題**：「ミャンマーの停戦の延長と拡大に関するASEAN首脳声明」を採択
- ◆ **世界経済の不確実性へのASEANの対応**：「グローバルな経済・貿易の不確実性への対応に関するASEAN首脳声明」を採択

ASEAN関連首脳会議（5月27日）

- ASEAN・GCC（湾岸協力会議）首脳会議
→経済協力に関する首脳共同宣言を採択
- ASEAN・GCC（湾岸協力会議）・中国首脳会議
→首脳共同声明を採択

「ASEAN2045: 我々が共有する未来」の採択

- 今後20年の方向性を示す指針として、ASEAN首脳会議で採択。
- 構成（6文書・計155頁）
 - ASEAN 2045:我々が共有する未来に関するクアラルンプール宣言
 - ASEAN共同体ビジョン2045ー強靱、革新的、ダイナミック、そして人間中心のASEAN
 - 4つの戦略計画（各分野の詳細な最新の戦略目標・施策）
 - ①政治・安全保障共同体
 - ②経済共同体2026-2030
 - ③社会・文化共同体
 - ④連結性



世界経済の不確実性へのASEANの対応

1. ASEAN経済大臣会合（AEM）プロセス

- ◆4月10日、ASEAN特別経済大臣会合オンライン開催・共同声明を発出。
→ASEANとして①一方的・報復的措置は取らず、対話を通じて建設的な解決を目指すとの共同歩調を取るとともに、②WTOを中心とするルールに基づく多国的貿易体制の下、③域内貿易・投資の深化、域外との経済関係強化に取り組みと発信。
- ◆経済情勢の不透明性が増している現状を踏まえ、パートナー国との経済連携を強化するため、ASEAN経済大臣は日本・豪NZ・中国の各々の経済大臣とオンライン会合を開催。（日ASEAN特別経済大臣会合は5月20日）

2. ASEAN首脳会議（5月26日）

- ◆ASEAN首脳会議の首脳リトリートで本問題を議論し、「グローバルな経済・貿易の不確実性への対応に関するASEAN首脳声明」を採択。AEMのラインを維持。5月半ばに立ち上げられたASEAN地経学タスクフォースの活用にも言及。

今後のASEAN関連会議

2025年

7月9-11日 ASEAN関連外相会議

(域外パートナー見直し予定)

9月下旬 ASEAN関連経済大臣会合

10月26-28日 ASEAN関連首脳会議

(東アジア首脳会議 (EAS)では、20周年記念宣言
及び総括声明・テーマ別声明を採択予定。)

※いずれもクアラルンプール開催

2026年

フィリピンASEAN議長国

2027年

シンガポールASEAN議長国

日本の戦略

- (1) 「信頼」の深化
- (2) 「共創」の推進
- (3) 「インド太平洋協力枠組み」の強化

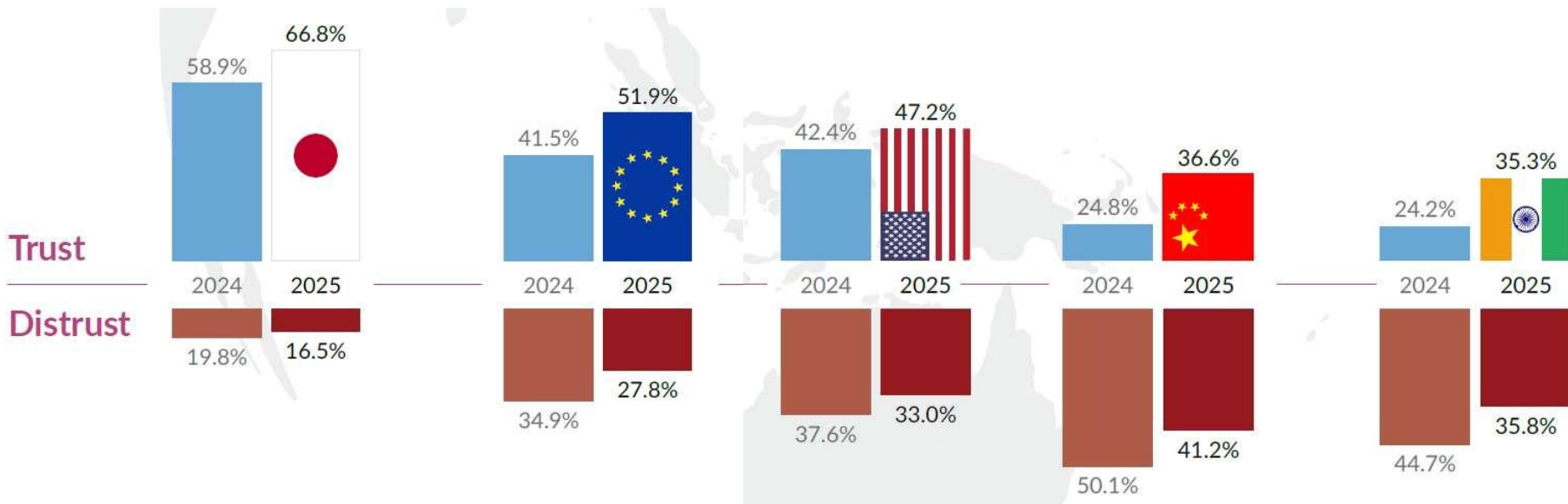
ASEAN意識調査「東南アジアの現状2025年」

日本の信頼度が主要国中第1位！

シンガポールのシンクタンクISEASユソフ・イシャク研究所ASEAN研究センターが2019年から毎年実施するASEAN10カ国（今年度から東ティモールも追加）の研究
者、ビジネス関係者、市民社会・メディア関係者、各国政府・国際機関関係者約
2,000人を対象に実施された意識調査2025年度版を4月に発表。

日本は、**信頼（Trust）**が不信（Distrust）を大きく上回って**主要国中第1位**。

日本の**国際法を尊重し遵守する責任ある姿勢**が高く評価された。





日本ASEAN友好協力50周年

次世代共創パートナーシップー文化のWA 2.0ー

(Partnership to Co-create a Future with the Next Generation: WA Project 2.0)

◆ 日本ASEAN友好協力50周年（2023年）を契機に、**日本とASEANの次世代の担い手を中心として1,000万人以上が裨益する包括的な人的交流の取組**を国際交流基金事業として立ち上げ、今後10年間で集中的に実施。

◆ 以下の2本柱の事業（「双方向の知的・文化交流」・「日本語パートナーズ」）を通じ、**「心と心」のパートナー**である日ASEAN双方において**「人への投資」**を強化し、日本とASEANの**未来を共に創る人材を育成**していく

◆ この取組により、以下の実現を目指す

- 1 日ASEAN間で、将来にわたる**強固な信頼関係**を構築
- 2 双方向の交流を促進し、**多層的な人的ネットワーク**を強化
- 3 気候変動や防災など**世界的な共通課題の解決**に、共に貢献
- 4 **日ASEAN関係の懸け橋**となる次世代の人材を育成
- 5 **多文化共生社会**の一層の発展に貢献

双方向の知的・文化交流事業

- ✓ 多様なテーマでの知的対話の促進
や共同研究の支援
- ✓ 初等・中等教育機関教師の招へい・交流
- ✓ 美術、舞台、音楽、映像（共同製作映画上映を含む）、スポーツ等の分野での人的ネットワーク
や協働事業 等



三陸国際芸術祭における交流

日本語パートナーズ事業

- ✓ 日本語授業のアシスタントや日本文化の紹介を行う「日本語パートナーズ」の派遣
- ✓ パートナーズ受入校の教師や日本語学習者の訪日研修
- ✓ 帰国したパートナーズの活動支援



日本語パートナーズと生徒

NEXUS



ASEAN 諸国と新たなイノベーションを共創し、
持続可能な研究エコシステムの構築を目指す

NEXUS

日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS: Networked Exchange, United Strength for Stronger Partnerships between Japan and ASEAN）は、「日ASEAN友好協力50周年」を機に、日ASEANの長きにわたる国際共同研究や人材交流等の取組を基盤とし、双方の強みを活かした柔軟で重層的な科学技術協力を推進。交流、共同研究、拠点の3本柱で、5年間150億円。

（1）ASEAN間の各種連携・交流事業（例：さくらサイエンスプログラム、ASEAN工学系高等教育ネットワーク:AUN/SEED-Net等）などで積み上げてきた成果や関係基盤を活用。

（2）共同研究のウェブサイトが作成し、タイ（グリーンテクノロジー）、シンガポール（AI）、フィリピン（水の安全保障）との共同研究が進行中。ベトナムと「半導体」分野で公募を実施予定。

（3）2024年9月、マレーシアに拠点を設置。

アジア・ゼロエミッション・センター（2024年8月21日設立）

- 脱炭素へ向けたロードマップや分野別行動計画の作成、グリーン・ファイナンスやカーボン取引の制度設計、産業界との連携を推進する拠点として、**ERIAにアジア・ゼロエミッション・センター**を設立

Decarbonisation Roadmap

脱炭素に向けた目標・タイムラインの設定やキードライバーの特定のための客観的且つ現実的なロードマップの提示を通して、各国のエネルギー移行促進に向けた戦略・計画策定を支援する

Sector Specific Actions

脱炭素に向けてキーとなるセクターや技術に対しより深い洞察を提供する

- Power：送電網 (i.e. ASEANパワーグリッド)
- Mobility：次世代モビリティ (i.e. 日・ASEAN次世代自動車産業戦略)
- Industry：省エネ機器 (i.e. ヒートポンプ、小型貫流ボイラー)
- Cross-sectoral: 水素・アンモニア、バイオマス、天然ガス、CCUS/カーボンリサイクル、重要鉱物

Market Enablers

脱炭素に向けて不可欠となる技術の価値が適切に評価され十分な投資を呼び込めるような市場構造をコーディネートする

- グリーン/トランジションファイナンス (Asia Transition Finance Study Group)
- カーボンマーケット



アジア・ゼロエミッションセンター
立ち上げ式



AZECアドボカシーグループ
ラウンドテーブル

- 2024年10月11日、石破総理が議長を務め、ラオスで開催された第2回AZEC首脳会合において、“**今後10年のためのアクションプラン**”を含む**首脳共同声明に合意**。武藤経済産業大臣も出席し、8月の第2回閣僚会合の成果を報告。
- AZECパートナー国の首脳からは、①AZECを主導してきた**日本の取組に対する支持**、②地域の脱炭素化、経済成長、エネルギー安全保障を同時に達成しつつ、各国の事情に応じた多様な道筋の下でネットゼロを目指す**AZEC原則への強固な支持**が示された。
- また、AZEC原則に従った**排出削減対策**（再生可能エネルギー推進、火力発電ゼロエミッション化、CCS技術等）や、技術革新、エネルギー移行に向けた**ファイナンス促進**により、地域として温室効果ガス排出削減を進めていくことへの、重要性が表明された。
- これまでの「**個別プロジェクトの実施**」に加え、各国とのルール形成を含む「**政策協調**」のステージへと、**新たな協力のフェーズに進展**。

首脳声明の主なポイント

①世界の脱炭素化への貢献／AZEC構想とAZECパートナー国の地域戦略の実施の加速

- ・ COP28の成果（再エネ3倍目標等）を歓迎し、取組を加速していくことをコミット。
- ・ AZECの取組を、パートナー各国の戦略や取組を反映した形で進めることを確認。

②AZEC原則の確認／AZECにおける進捗の歓迎

- ・ 脱炭素・経済成長・エネルギー安全保障の確保の同時実現
- ・ 各国の事情に応じた多様な道筋によるネットゼロの実現
- ・ 8月に開催されたAZEC閣僚会合（経産大臣議長）の成果やアジア大で進む官民の協力イニシアティブ等を歓迎。

③「今後10年のためのアクションプラン」

柱1：AZECソリューション（脱炭素化に資する活動を促進するルール形成等）の推進

例）GHGの算定・報告の促進等、サプライチェーン全体の排出量の可視化
トランジション・ファイナンスの推進
農林分野・運輸部門等の脱炭素化

柱2：イニシアティブの始動

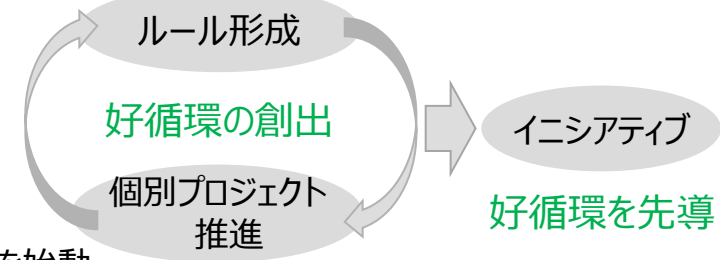
例）知的エンジンとしてジャカルタに「アジア・ゼロエミッションセンター」を設置
排出量の多い電力・運輸・産業の脱炭素化に関するロードマップ策定等を始動

柱3：個別プロジェクトの更なる組成

例）ODAや政府機関（JBIC、JETRO等）の政策ツールを活用した脱炭素プロジェクトの創出等
（再生可能エネルギー普及、グリーン工業団地開発等）



（出典：外務省HP（写真提供：内閣広報室））



日ASEAN協力の基本的視点

- 日ASEAN友好協力に関する共同ビジョン・ステートメント ～信頼のパートナー～
 - －未来の経済・社会を共創するパートナー [デジタル]
 - －平和と安定のためのパートナー [サイバーセキュリティ]
- ASEANインド太平洋アウトルック (AOIP)
- ASEANデジタルマスタープラン2025

日ASEANデジタルワークプラン2025における取組

1. デジタルインフラ及びデジタルトランスフォーメーション

- ・ 5 G/Open RAN等によるデジタル連結性強化
- ・ デジタルインフラの整備促進に向けた人材育成
- ・ イノベーションの推進

2. 強靱性、信頼性及びセキュリティ

- ・ AJCCBC
- ・ ISP連携の推進
- ・ 日ASEANサイバーセキュリティ政策会議

3. デジタル政策、規制及び標準

- ・ AI政策
- ・ インターネットガバナンス
- ・ データガバナンス／Data Free Flow with Trust (DFFT)

4. 協力及び協調

- ・ ASEAN関連会合への対話国としての積極的な参加
- ・ 日ASEAN ICT基金等による支援
- ・ ASEAN諸国との2国間政策対話の実施

ASEAN地域のICT環境向上に力強く貢献

日ASEAN AIイノベーション共創ロードマップ

背景と目的

- AIにはビジネスにおける生産性向上と付加価値をもたらす可能性。AIの戦略的な展開が持続可能な成長の鍵。
- AIが与える経済的・社会的な影響を評価し、AI展開の共通課題を特定し、課題克服のための協力の提示を通じて、**AI展開にかかるビジョンを共有する日ASEANのロードマップを策定**していく。

ロードマップで特定されうる協力事例

- **AI人材育成:** AIトレーニングプログラムの開発及び利用促進
- **AI起業家・スタートアップコミュニティの形成:** 人材・スタートアップ・大企業のネットワーク化によるコミュニティの形成
- **AI適用の加速:** ビジネス・産業へのAI適用のベストプラクティスの共有
- **LLM 開発 (非英語) & LLM産業の適用拡大:**
- **AI展開のためのデータ共有:** AI学習にとって重要なデータ共有のための協力 等

(ロードマップで特定された行動は「未来デザイン&アクションプラン」のアイテムとしてフォローアップされる。)

E-DISC (ERIAデジタル・イノベーション・サステナブル・エコノミーセンター)

- 2023年8月、ERIAデジタル・イノベーション・サステナブル・エコノミーセンター（E-DISC）設立
- E-DISCの主要活動分野
 - デジタルトレード：ASEANデジタル経済フレームワーク交渉を支援
 - データガバナンス：域内ルール策定やサイバーセキュリティの確保
 - イノベーションとアントレプレナーシップ



2023年8月のE-DISC発足式にはアイルランガ・インドネシア経済調整大臣が出席。

自由で開かれたインド太平洋（FOIP） （2016年）

- ルールに基づく国際秩序の確保を通じて、インド太平洋地域を「国際公共財」として自由で開かれたものとする事で、地域の平和・安定・繁栄を促進を目指す

【目標】

国際社会を分断と対立ではなく、協調に導く

【中核理念】

「自由」・「開放性」・「多様性」・
「包摂性」・「法の支配」の尊重

インド太平洋に関するASEANアウト ルック（AOIP）（2019年）

- インド太平洋地域での地政学的対立に能動的に對外関与すべく、打ち出された地域協力の指針

【中核要素】

- (1) 包摂性・ASEAN中心性の推進
- (2) 地域における機能的協力の推進による戦略的信頼の醸成
- (3) ASEANの主要4分野の協力推進
⇒ 海洋協力、連結性、持続可能な開発目標（SDGs）、経済等の協力分野

【AOIP協力についての日ASEAN首脳会議共同声明(2020年)】

- AOIPとFOIPは平和と協力を推進する本質的な原則を共有
- AOIPの主要4分野における実務協力と相乗効果を強化（海洋協力、連結性、持続可能な開発目標（SDGs）、経済等）

【日ASEAN共同ビジョン・ステートメント(2023年)】

- AOIPとFOIPは地域の平和・安定・繁栄を促進する上で本質的な原則を共有
- 開放性、透明性及び包摂性といった重要な原則を強化するAOIPの主流化に関する協力を推進

【「ASEAN未来フォーラム2025」への岩屋大臣ビデオ・メッセージ(2025年)】

- 以上の諸点を確認しつつ、引き続き、ASEANと手を携え、AOIPの主流化を推進する旨表明

- 石破総理就任後、**初めての二国間訪問**として、本年のASEAN議長国マレーシア及びASEAN最大の経済・人口を誇るインドネシア訪問。
- 国際情勢が不透明さを増す中、インド太平洋地域の「要」に位置し、世界の成長センターである**東南アジアとの連携・信頼関係強化**は、今後の日本外交にとり極めて重要。
- アンワル・マレーシア首相、プラボウォ・インドネシア大統領と個人的関係構築。

1 日・マレーシア首脳会談 (1月10日:約90分間(少人数:25分、拡大会合:65分))

(1) 安全保障

- **戦略的対話の進展**及び**海軍種間の共同訓練開始**を歓迎。
- **OSA**(政府安全保障能力強化支援)による**警戒監視用機材の供与**の着実な進展を確認。
- 海上保安庁とマレーシア海上法執行庁間の**協力文書実質合意**を歓迎。

(2) 経済

- **サプライチェーン強靱化**や、**レアアース開発**分野での協力で一致。
- **二酸化炭素回収・貯留(CCS)**や**アンモニア発電**、**サラワク州のものを始めとする水素、LNG等の協力**といったエネルギー安全保障の確保及び多様な道筋による脱炭素化に向けた協力の推進を確認。
- **アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)**に係る協力を一層強化することで一致。
- 日本の強みを活かし、マレーシアの洪水対策を支援。

(3) 地域・国際情勢

- 東シナ・南シナ海情勢、中東情勢、ミャンマー情勢を始めとする地域・国際情勢について意見交換。**パレスチナ向け協力を含む連携**を推進することで一致。
- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化につき、引き続き連携していくことで一致。



歓迎式典



少人数会合



全体会合

2 日・インドネシア首脳会談（1月11日：約110分間（少人数：50分、拡大会合：60分））

（1）安全保障

- 年内の外務・防衛閣僚会合「2+2」開催で一致。防衛装備品・技術協力を含む海洋安保について防衛実務者間の協議立ち上げを歓迎。
- OSAによる高速警備艇の供与の交換公文署名を歓迎。
- 防衛大学校への留学生受入れ等を通じた人的ネットワーク形成の重要性を確認。

（2）経済・防災等

- エネルギーの安定供給に関する協力強化で一致。AZECの下でのムアララボ地熱発電、水素、アンモニア、バイオ燃料といった脱炭素・エネルギー分野や重要鉱物分野での協力を確認。
- 防災分野について、両国が災害多発国であること念頭に、日本の知見を活かし、インドネシアの国土強靱化を支援。
- プラボウォ大統領が進める給食の普及、漁業・農業振興、人材育成について、日本の経験を踏まえた協力の推進で一致。

（3）地域・国際情勢

- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化につき、引き続き連携していくことで一致。
- インドネシアのOECD加盟プロセスの進展を積極的に支援することを含め、国際場裡において一層連携を強化することで一致。

（4）その他

- 石破総理から、プラボウォ大統領を本年中に訪日招待する考えを伝達。



歓迎式典



首脳会談前の握手



少人数会合

- 1月のマレーシア・インドネシア訪問及びラオス首相訪日が続く、東南アジア諸国との首脳外交。戦略的要衝に位置し、力強く経済成長を続ける両国との間で、安全保障や経済分野で連携強化。
- 米国の関税措置や中国の報復措置が世界経済や多角的貿易体制に与える影響を踏まえ、両国及び現地日本企業の声にも耳を傾けた。
- 力による一方的な現状変更の試みが強化される中で、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋」実現に向け、鍵となる東南アジア諸国との安全保障協力を強化。

1 ベトナム: ラム党書記長との会談(約70分) 及び チン首相との会談(4月28日: 少人数含め計約110分)

(1) 安全保障

- 外務・防衛次官級2+2の創設。安全保障協力を更に具体化することで一致。

(2) 経済

- 「新しい時代」を歓迎し、半導体やGXを始めとする新たな分野の協力等を通じてベトナムの産業高度化・強靱化を後押しすることを確認。
 - ✓ ベトナムの半導体博士500人育成目標に対して250人程度を受入れ
 - ✓ 日越大学の半導体プログラムの今夏開始
 - ✓ AZEC等を通じた総額200億ドル規模の脱炭素・エネルギー協力
 - ✓ 地方農村地域の防災インフラ整備
- 日本企業が抱える諸問題解決を含め投資・経済協力環境整備を確認。

(3) 地域・国際情勢

- 世界経済、東シナ・南シナ海情勢、核・ミサイル問題及び拉致問題を含む北朝鮮情勢、ミャンマー情勢を始めとする地域・国際情勢について意見交換し、連携強化で一致。
- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序及び多角的自由貿易体制の維持・強化に向け協力していくことで一致。ベトナム側は日本の役割に期待。



トラム党書記長



チン首相による歓迎式典



高付加価値産業
日越協力フォーラム
(チン首相参加)

石破総理のベトナム及びフィリピン訪問(主要な成果)

2 マルコス大統領との会談(4月29日:少人数含め計約85分)

(1) 安全保障

- 運用面での更なる連携強化に向けた**ACSAの交渉開始**で一致。
- **情報保護協定の早期締結**の重要性を確認し、政府間の議論実施で一致。
- 日米比海上保安機関間での新たな合同訓練

(2) 経済

- 日本の強みや経験を活かして、マルコス大統領が目指すフィリピンの上位中所得国入りを後押し。
 - ・海底ケーブル事業やオープンRAN実証実験を通じた**5Gネットワーク構築**。
 - ・フィリピン国内のLNG設備拡大に向け、官民で連携。**AZEC**や**強靱なエネルギーサプライチェーン**構築に向けた協力。ニッケル等の鉱物資源事業を含む事業のため、安定した事業環境が必要であるとの認識で一致。
 - ・**防災**や**農業**分野での緊密連携

(3) 地域・国際情勢

- ・世界経済、東シナ・南シナ海情勢、その他の地域・国際情勢について意見交換し、連携強化で一致。



日・フィリピン首脳会談



マルコス大統領夫妻との
記念撮影

3 フィリピンにおけるその他の行事

(1) 4月29日、総理は**フィリピン残留日系人**と面会。総理から、一日も早く国籍取得や一時帰国が実現するよう、日本政府として取り組んでいきたい旨発言。フィリピン残留日系人の方々からは、石破総理と面会できたことで、祖国とのつながりを感じた旨感謝の気持ちが述べられた。

(2) 4月30日、日本の**総理として初めて**カリラヤ日本人戦没者慰霊碑にて献花。また、フィリピン沿岸警備隊視察や海自艦艇への激励を実施。



残留日系人との面会

石破総理の日経フォーラム第30回「アジアの未来」講演 (2025年5月29日)

- ◆戦後80年、アジアの歴史や文化を謙虚に学び、本当の信頼を獲得
- ◆CPTPPの枠組みの拡大・アップグレード
- ◆共創の精神に基づいた、新しいアジアの未来の構築
- ◆AZECの枠組みも活用したASEANの脱炭素化支援
- ◆AI分野でアジア各国と人材やスタートアップの交流促進
- ◆質の高いインフラ投資（日ASEAN包括的連結性イニシアティブ）
- ◆「世界一の防災大国」としてアジアの防災に尽力
- ◆「日本ASEANみどり協力プラン」のもと食料安全保障強化
- ◆日本の少子高齢化の経験を共有



出典：首相官邸、日本経済新聞

信頼で共創する未来

AOIPというプラットフォームを活用して、
協力の成果をインド太平洋から世界に広め、
地域と世界の持続可能な平和と繁栄に貢献

世界にスケールアップ

エネルギー移行・気候変動・環境・
デジタル化・保健・防災などの
地球規模課題・社会課題

50年の
歴史

福田ドクトリン以来の
「心と心のふれ合う相互信頼関係」

50周年を契機に制度化・可視化を推進

多層的な交流と
相互理解の促進
を通じた信頼

日本
ASEAN

イノベーション
による社会課題
解決の共創

社会課題
の解決

多文化共生
社会の実現

日本とASEANが相互に学んで自らを変革し、
安全で豊かで持続可能な多文化共生社会を実現

日ASEAN協力の推進（主要協力分野）

世代を超えた心と心のパートナー

- ◆ 青年・人的交流
- ◆ 文化・知的交流
- ◆ スポーツ
- ◆ 観光
- ◆ 語学
- ◆ 教育
- ◆ 外国人労働者
- ◆ 科学技術
- ◆ 人材開発
- ◆ ビジネス交流
- ◆ 自治体交流
- ◆ ASEAN事務局支援
- ◆ 大阪・関西万博

未来の経済・社会を共創するパートナー

- 経済
- 金融
- 連結性
- 交通
- 環境・気候変動
- エネルギー・重要鉱物
- 防災
- 保健・社会福祉
- スマートシティ・都市化
- デジタル
- 宇宙
- 農業・食料システム
- 格差是正
- ジェンダー
- 労働
- SDGs
- 公務員制度
- 地方開発

平和と安全のためのパートナー

- 法の支配
- 海洋安全保障
- 防衛
- WPS・YPS・平和構築
- 核不拡散
- 人権
- 国境を越える犯罪
- サイバーセキュリティ
- 偽情報
- 競争政策・競争法
- 出入国管理
- 地雷
- 地域枠組み

ご清聴ありがとうございました

